

照于一隅

平成26年6月27日(金)発行

兵庫県立網干高等学校
第3学年団発行
TEL274-2012・FAX274-2015

「部活動を終えて」

先日開催された文化発表会のバザーの部は、3年生各クラスとも趣向をこらした出店であつた。各自、各クラスすばらしい思い出作りができたことと思います。また総合司会のお三方は、懸命に場の雰囲気作りをしていただき、ほんとうにご苦労様でした。

さて、6月は一部の部活動を除いて多くの部や生徒会執行部において、引退の時期でした。これまで様々な思いを胸に励んできた部活動、生徒会活動。各部、生徒会執行部の代表に思い出などを語っていただきました。

生徒会

私は3年間、生徒会執行部として活動してきました。その間、多くの先輩、後輩と関わってきました。その中で思いやること、助け合うこと、妥協しないことなど将来に役立つ様々なことを学びました。1・2年生の時は、顧問の大野先生、原先生、白川先生のもとで体育大会、文化発表会、球技大会の企画、運営に携わってきました。そして最後の仕事となった3年生の文化発表会は、顧問の富士原先生、板倉先生、上端先生のご指導のもと、とてもすばらしいものにすることができました。生徒会執行部を引退するとき、後輩の執行部員たちの姿を見て、自分たちの築いたものをきちんと受け継いでくれることを確信しました。とてもうれしく思いました。

生徒会に入った当初は戸惑いばかりでしたが、徐々に慣れ、最後までやり遂げることができて、本当によかったと思っています。

放送メディア部

私は家庭の事情により忙しく、あまり部活動に顔を出せませんでした。それでも最後まで部長としていられたのは部員のみんなや顧問の先生の支えがあったからです。部活動の本気で辞めようかと悩んでいた時も慰め、支えてくれたのは仲間の部員でした。感謝してもしきれません。3年生が引退してしまうと、我が部は部員数がかなり減少します。そのことを思うと少し不安なところもありますが、きっと大丈夫でしょう。次の行事でてきぱきと働く成長した後輩たちの姿を見るのが今から楽しみです。今はまだ引退という実感はそれほどありませんが、いつまでも部活動の余韻にひたっているわけにはいきません。今からは受験生モードに切り替え、自分の夢に向かって頑張っていきたいと思っています。最後に同学年のみんな、後輩たち、馬場先生、白川先生、上端先生ありがとうございました。

家庭部

「家庭部の創部以来、第1号の男子部員だよ。」そう先輩から聞かされたときは衝撃が走りました。私は小さい頃からパティシエを目指しています。将来、みんなに幸せを感じてもらえるようなケーキを作れるようになることが私の夢です。しかし、入部当初の私は卵ひとつ綺麗に割ることすらまったくできないド素人でした。部活動中はミスを連発して、先輩方に迷惑をかけることが多々ありました。そんな私に対し、先輩方は嫌な顔ひとつせず、何度も何度も丁寧に指導してくださいました。文化発表会では、販売用のお菓子をみんなで協力して大量に調理しました。すごく貴重な体験をし、印象に残っています。夏休み期間中にみかしは学園で「第1回スイーツ甲子園」が開催されます。私の作品はまだ試作の段階ですが、完成させて参加しようと思っています。一次予選、本戦とありますが、優勝を目指して頑張ると同時に思い切り楽しみたいと思っています。

ESS部

ESS部ではたくさんのことを経験させてもらいました。昨年の校内英語スピーチコンテストでは、司会という大役をさせていただきました。人前で英語を話すことの難しさを痛感すると同時に達成感を得ることができました。

文化発表会では英語のクイズやダンスなどの催しをしました。自分たちで作り上げたものをたくさんの人に見てもらえることができ、やってよかったと思いました。そして何より、一番思い出に残っているのは週1回の部活動でした。英語のゲームをしたり、洋画を見たり、洋楽を聴いたり楽しいことづくしでした。ALTの先生や部員のみんなと過ごす時間は笑顔が絶えませんでした。

3年間、ESS部で培った経験を今後の生活に生かすとともに、楽しかった思い出をバネに受験に臨みたいと思います。

卓球部

私は部活動を引退してから、これまでを改めて振り返ると充実していたなと感じます。網干高校に入学した時、女子卓球部は廃部になっていました。しかし、顧問の先生に無理を言って入部させていただきました。初めの1年間は部員が2人だけだったので団体戦に出場できず、他校に比べ不十分な点も多くありましたが、お互いに支え合いながら頑張ることができました。そして2年目、3年目にはたくさんの後輩が入部してくれ、本当にうれしかったです。中学のころから今まで5年間卓球をやってきましたが、その度に優しく頼れる仲間と出会い、一生懸命になれたことはとても幸せで、恵まれていたと思います。高校最後の試合ではチームで県大会に進むことができ、私にとって悔いのない、一生の思い出になりました。

女子バスケットボール部

私は高校で初めてキャプテンをすることになったので、当初はとても不安でした。新チームになって数ヶ月経ったころ部員が減り、大会に出場できなくなりました。とても大変な時期が続きましたが、残った部員で頑張ってきました。そして今年の春、数人の1年生が入部してくれました。おかげで引退までの毎日の練習が楽しく、笑顔で部活動を終えることができました。部活動を通して仲間の大切さや最後まであきらめずにはいられないことを学びました。また、周囲の支えがあったからこそ、部活動ができたのだということにも気づきました。このバスケットボール部で学んだことを受験やこれからの生活に生かしていこうと思います。私たち3年生三人が引退して、部員数が減ってしまいましたが、後輩たちには一丸となって、大会ではひとつでも多く勝てるように頑張っていきたいと思っています。

男子バスケットボール部

私が部活動を終えて印象に残っていることは日々の練習です。先輩方はおもしろく、優しい存在で、同級生は個性的で、後輩はしっかりしていた部活動でした。そんなチームメイトと騒ぎ合ったり、時には口論になったりと日々ぎやかに過ごしました。また練習は辛いものでしたが、楽しいものでした。そう思えるのも、個性豊かで一緒にいて楽しいと思えるチームメイトと出会えたおかげです。これからは大学受験に向けて、バスケットボール部で培った根気を持って、受験勉強を頑張っていこうと思っています。高校卒業後も、このチームメイトとバスケットボールを楽しめたらいいなと思っています。

女子バレーボール部

入部したバレーボール部は部員数がとても少ない状態でした。そんな中で悩みながらも、全員で頑張ってきました。あまり良い成績を残すことはできませんでしたが、長かったようで短かったこの部活動の時間には多くの思い出が詰まっています。網干高校バレーボール部の先輩、同級生、後輩に出会い、一緒に部活動ができたことはこの上なくよかったと思っています。また顧問の先生から学んだ技術と同時に礼儀や人間関係の大切さも忘れずに、今後の生活を過ごしていきたいと思っています。バレーボール部に入り、そして途中で辞めることなく最後まで続けて、たいへんよかったと思っています。

バドミントン部

部活動を引退して、やる事がなくなったというのが実感です。そう思ったとき、2年間部活動に費やしてきた時間はとても長いものだったと改めて思いました。この2年間は、キャプテンとして辛いこともたくさんありました。時には、顧問の先生や部員と対立することもありました。しかし、最後の県総体では、勝った部員も負けた部員も、2年間頑張ってきた練習の成果を十二分に発揮してくれたと思います。その姿は、キャプテンの私にとってたいへんうれしいものでした。

最後に男女バドミントン部員のみんな、この作文を見ているかはわかりませんが、本当にいろいろとあった1年間でしたね。私に対して、不満も多々あったと思います。それでも要求や無茶をしっかりと聞いてくれて実行してくれたこと、助かりました。たくさんの感謝の思いを込めて、ありがとうございます。

剣道部

初めて竹刀を握った中学1年の4月。あの日から今年の6月の県大会で、私の6年間の部活動生活は終わりました。その間、たくさん怒られ、たくさん褒められ、先輩、後輩、同期のみんなと一緒に笑い合い、励まし合いながら剣道をするのが好きでした。1年生のときはただただ稽古をするだけでしたが、先輩が引退された後、私はキャプテンという大役を任命されました。何とか部をまとめないといけないという気持ちだけが空回りし、気がつけば部員との間に大きな溝ができ、言い争いをする事が多くなってしまいました。自分でも情けなく、何度も悩み、考え、辞めてしまいたいと思ったことも正直ありました。でも、そんな私を支えてくれたのは引退された先輩方であり、家族、仲間でした。また富士原先生は私たちに希望を持っていると言ってくださいました。横瀬先生はいつも私たちをフォローしてくださいました。そのおかげでキャプテンという大役を無事終えることができたと思います。

剣道を通じて我慢することも覚えました。また勝つことよりも感謝の気持ちを持つことの大切さ、礼儀や挨拶が大事であることも学びました。これからは今まで剣道を続けてきた自分を信じ、自分の夢が叶えられるよう残りの高校生活を過ごしていきます。頼りない私に付いてきてくれた同期のみんな、後輩ありがとう。そして指導して下さった富士原先生、横瀬先生ほんとうにありがとうございました。

男子ソフトテニス部

新チームになってからの1年間、部長という立場になり、とても貴重な経験をさせてもらいました。中学の時は、このような重責を背負う役職に就いたことがなかったので、最初は何をしているのか分からず、ストレスが溜まりました。そんなとき、私を支えてくれたのが顧問の先生、部の仲間、引退した先輩方でした。部活動を引退し、関わりは少なくなりましたが、現在でも感謝の気持ちでいっぱいです。部長として過ごした1年間、そしてテニス部の仲間と共に過ごした2年間は私にとってかけがえのない特別な時間となりました。テニス部での貴重な経験を無駄にせず、これからの生活に生かしていきたいです。

サッカー部

網干高校サッカー部で部活動をしてきて、得たことや学んだことは数え切れないほどある。そして、それらは私にとって大切な思い出になった。学年が上がるにつれ、部活動への意欲、意識が高くなっていった。最後の大会が刻々と近づいてくると、それまでの練習がいかに重要であるかということをしひししと感じた。しかし、そのことに気づいたのが遅かったかもしれない。県総体でベスト16がかかった試合に負けてしまった。とても悔しかった。このチームは頼れる先輩方が抜けたあと、どうなるかと思ったけれど、最後の大会で最高の試合をし、最高の思い出が作れてよかった。今までサッカーをしてきて、高校でのサッカーが一番楽しかった。

陸上競技部

私自身陸上を始めたのは高校からでした。入部当時はわからないことだらけでしたが、部員のみんなにいろいろと教えてもらって、現在では陸上が大好きになりました。この2年間における成績は、2年生の時には800mで県総体出場、西播ジュニア1位、西播ユース1位、400mで西播ジュニア3位、3年生の時には800m・400mで県総体出場でした。

それなりの成績を残すことができましたが、一つ上の北浦先輩が近畿ユースや近畿総体に出場した成績には遠く及ばず、残念でした。

陸上競技は個人種目がほとんどですが、一人ではけっして結果を残すことができません。一緒に練習できる仲間や環境を整えてくれる人がいてこそ、結果を残すことができると思います。私はそのことを部活動から学びました。引退した現在、改めて仲間や支えてくれた人たちに「ありがとう」と言いたいです。

女子ソフトボール部

私たち女子ソフトボール部は、新入部員が入って来るまで部員数9人というぎりぎりの状態でした。試合へ出るとなれば、助っ人を頼みました。試合はコールド負けが続きました。そんな女子ソフトボール部に6人の新入部員が入ってくれました。最後の大会では勝つことはできませんでしたが、コールド負けは阻止することができました。帰りのバスの中では、初めて試合らしい試合ができたと皆喜んでいました。その時、いつもこんなに楽しく笑える仲間がいるこの部に入部してよかったと思いました。

これから後輩たちは以前の私たちのようにぎりぎりの人数でやっていくこととなります。大変だとは思いますが、ソフトボールを皆で楽しんでやることだけは忘れずに、部活動を続けてください。頑張ってください。

《まだまだ頑張っている部活動》

「近畿大会に向けて」 女子ソフトテニス部

私たちは7月20日から奈良県で開催される近畿大会に個人戦と団体戦の両方に出場できることになりました。高校生活3年目になり、集大成となる県総体でチームが団結し、目標を達成できたことは大きな成長だったと思います。たくさん悔しい思いもしました。こらえきれずに喧嘩したこともありました。それでも、ここまで頑張ってこれたのはたくさんの人たちのおかげだと感謝しています。私たち3年生にとってはこの近畿大会が最後となります。部員一丸となり、勝ち取った近畿大会出場は、それぞれが一步前進できる舞台でもあります。悔いのないよう、思いっきりプレーしたいと思っています。また一緒に頑張り、励まし合ってきた男子の分も全力で戦いたいと思っています。顧問の先生はじめ、家族、仲間への感謝を忘れず、力を出し切りますので、応援よろしくお祈いします。

「全国高校野球選手権兵庫大会に向けて」 野球部

入部してから今まで長いようで短かった。一つ上の代のチームは、秋季県大会の出場を果たした。だから、私たちの代のチームも2年連続県大会出場を目標として練習してきた。しかし残念ながら、その目標は果たすことができなかった。

そして今の私たちは、先輩たちの戦績を超えることを目標に夏の大会ベスト16を目指して練習に励んでいる。その目標を達成するためには強豪校やシード校に勝っていかなければならない。冬の厳しくて過酷なトレーニングにも耐え、みんなで乗り越えてきた。今まで行ってきたことをけっして無駄にしないようにしていく。野球ができることの感謝の気持ちを忘れず、チーム一丸となって悔いを残さないように大会に臨みたい。応援よろしく。

「兵庫県吹奏楽コンクールに向けて」 吹奏楽部

私たち吹奏楽部は1年生24人、2年生14人、3年生10人の計48人で毎日活動しています。今年は1年生がたくさん入部してくれたため、一段とグレードアップした「網ブラ」になりました。また今年は顧問の先生が大幅に変わり、初めは不安ばかりでしたが、現在ではとてもよい雰囲気の中で、コンクールに向けて練習に励んでいます。私たちの目標はコンクールで悔いなく最後まで演奏しきることです。しかし、そのためにはまだまだしなければならぬ課題がたくさんあります。その一つ一つをこなし、金賞を勝ち取りたいです。残りの時間を無駄にせず、日々を大切にし、本番では48人のサウンドをホールいっぱい響かせ、聞いている観客の方々を感動させる演奏を目指します。応援よろしくお祈いします。